

キューバ強制収容に名簿

戦中の親米政権下

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約3500人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容目や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。(31面に関連記事)



多くのキューバの日系人の遺骨が安置されている、首都ハバナ市内の慰霊堂と墓地の管理人の男性(共同)

京滋4人 日系350人、死亡年月日も

日系2世でハバナの日系 商社勤務が10月にキューバを訪問した共同通信加盟 寛司さん(長野県出身、故人の遺品から見つけた。世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約100人を訪ね歩き、手書きの名簿を

キューバ 米フロリダ半島から南約145キロのカリブ海に浮かぶ社会主義の島国。人口約1124万人。共産党の一党独裁で、キューバ革命を主導したフィデル・カストロ前国家評議会議長の弟ラウル・カストロ議長が国家元首。1492年にコロンブスが到達。1902年にスペインから独立した後には米国の干渉を受けたが、カストロ兄弟やアルゼンチン出身の医師チェ・ゲバラらがケリラ戦で59年に親米政権を打倒。61年に米国が断交を通告、キューバは社会主義路線を宣言した。公用語はスペイン語。

作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56

人、広島県42人。京都府は1人、滋賀県は3人だった。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所

生活が長引く中「運芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「フrazilやペルー、米国の日系人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。(ハバナ共同)

日系人強制収容 名簿現存

大戦中 親米政権下のキューバ



ミヤサカさんが提供したキューバの日系人収容者名簿のコピー（共同）

350人分 80年代 元収容者訪ね作成

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入られていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会長フランシスコ・ミヤサカさん（81）が日本商社勤務が10月にキューバを訪問した共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん（長野県出身、故人）の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん（東京都在住）が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別で

みると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。愛媛出身者の名前はなかった。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米パテイスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多

く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんはブラジルやペルー、米国の日系人は成功して

財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしていると話した。（ハバナ共同）中川千歳）受け継がれる価値



体験話さなかったフランシスコ・ミヤサカさんの話。父は収容中の体験を話したがらなかった。

キューバ日系人を巡る動き（日付は現地時間）

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月	全ての日系人が収容所から解放
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年	最後の1世、島津三一郎さん＝7月10日 新潟県出身＝が108歳で死去

非常につまらかったのだろう。収容中の3年間、母と私も父親には全く会えなかった。貧しくて刑務所に訪ねに行くことはできなかった。（戦争と）関係のない日系人を収容所に入れた当時の親米政権はひどかったと思う。現在キューバの日系2世で日本語を話せる人は私以外におらず、3世、4世は日本人としてのアイデンティティをほとんど持っていない。キューバの日系人は人数が少ないこともあり実態が知られていない。（名簿で）歴史を知ってもらえればうれしい。

キューバ収容所に日系人

戦時の親米政権下名簿現存

男性56人女性も1人か

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。名字から沖縄県関係とみられる女性1人も記されている。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系人350人分作成

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が、41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米社説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約100人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)

キューバの強制収容所にいた沖縄県出身者名簿(敬称略)

- ▽1942年4月16日収容 山入端万栄
- ▽同年4月21日収容 上原幸三
- ▽同年11月24日収容 崎原金永、玉城徳太
- ▽43年2月11日収容 西新門政光、大城牛、渡久地政則、照屋松吉、宮城当清、玉城徳吉、山城仁弘、玉城徳蔵、赤比地亀三、石川文助、赤比地政芳、伊波清孝、嶺井武彦、津波古千松、石川久吉、松田安定、上間利清、玉栄樽良、又吉誠喜、伊波清一、内間武五郎
- ▽同年2月23日収容 仲宗根勝吉、饒平名知政、饒平名知栄、我喜屋得寿、伊波伝助、又吉加那、宮城友吉、仲程清四郎、玉城賢盛、系数宗信、大城亀、仲宗根幸春、大城寛順、石川善俊、平良徳平、渡久地政平、饒平名知嗣、永峰松男、上原牛治、上原亀次郎、上原徳一、上原亀康、上原亀三、内間善五郎、上間嘉昇、石川加那
- ▽同年2月末日収容 大兼久安吉
- ▽同年3月26日収容 山入端久郎、遠山亀吉
- ▽同年5月収容 高嶺賢陽、玉城賢吉
- ▽女性の収容者(県名はないが名字から沖縄関係者と思われる) 山入端マリア



戦時中のキューバの日系人収容者名簿を保有するフランシスコ・ミヤサカさん

随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。

女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国人と異なり、キューバでは女性を対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サクヤさん(故人)は、

女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国人と異なり、キューバでは女性を対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サクヤさん(故人)は、

間さんと日系2世の女性、山入端マリアさん(沖縄県関係者)とみられるら2人で、彼がいなければキューバ移民のことはほとんど知られずに終わっていただろう。

女性3人例外的に収容

倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。

そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催し

を聞くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

キューバ日系人を巡る動き(日付は現地時間)

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月	全ての日系人が収容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年	最後の1世、島津三一郎さん=新潟県出身=が108歳で死去

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産を築いた人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。

妻や子どももの生活も苦しかった。一家の大黒柱を失い、スペイン語もほとんど話せない女性が農業やクリーニング業などで生計を立てた。

全土歩いた記録

キューバ移民についてまとめた「峠の文化史」(1989年)の著者、倉部きよたかさんの話。日系キューバ人の収容者名簿は内藤五郎さんが80年代に、当時100人近く健在だったキューバ全土の日系1世を訪ね歩いてまとめた。内藤さんの努力は大変なもので、彼がいなければキューバ移民のことはほとんど知られずに終わっていただろう。

キューバ 戦時中收容の日系人 名簿350人分見つかる

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制收容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。收容日や出身県も書かれており、キューバの日系人收容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が10月にキューバを訪ね歩き、手書きの名簿を作った。作成したのは広島県出身の日系1世で、自身も收容された故内藤五郎さん。1980年代に全土に散らばった元收容者約100人を訪ね歩き、手書きの名簿を作り、共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が

整理してワープロで清書した。收容者の出身県別で見ると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。本県出身者はいなかった。

41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に收容した。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。

倉部さんの取材などによると、收容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、收容中に死者も出た。そんな中、日系人は收容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。收容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを聞くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。

名簿には收容番号や自治会委員の肩書、收容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。(ハバナ共同)

キューバ

日系350人強制収容

第2次大戦 親米政権下 日本語名簿見つかる

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が、10月にキューバを訪問した佐賀新聞社など共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。

全土訪ね歩いた記録

キューバ移民についてまとめた「峠の文化史」(1989年)の著者、倉部きよたかさんの話。日系キューバ人の収容者名簿は内藤五郎さんが80年代に、当時は100人近く健在だったキューバ全土の日系1世を訪ね歩いてまとめた。内藤さんの努力は大変なもので、彼がいなければキューバ移民のことはほとんど知られずに終わってしまう。私たちは収容者名簿の作成、情報となった「移民名簿」も作らなかつた。最近の日系1世の動きも探している。その目的は、それらに受け継がれる価値があると思う。

作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書

した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人、佐賀県は1人だった。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米パテイスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性

約350人を選捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多

く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな楽しみを創り出した。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡

くなった人の死亡年月日も記録されている。解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系

人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。(ハバナ共同)中川千歳



東京スカイツリーの北東約1キロにあり「新重吉密集市街地」に指定されている東京都墨田区京島2丁目。道幅が狭く、古い住宅が立ち並ぶ。

危険解消 地域差大

また、指定地区の安全性向上のため、利害関係を調整して合意形成を図るよう、国は住民とつくる協議会の設置を勧めているが、5都府県の27地区は未設置だった。

「地震時に著しく危険な密集市街地」は国が2020年度末までの解消を目指しているが、進捗(しんちょく)には地域差がある。大規模開発で解消が進む首都圏に比べ、京阪神などは遅れがち。劇的

な数値の改善が見込めなくても被害を最小限に抑えようとする取り組み自体もある。阪神大震災(1995年)の教訓から国は密集市街地の解消に本腰を入れ始めた。当初は大規模な火災が起る恐れがある地区だけが対象だったが、現在は大火の他、建物の倒壊などで道がふさがり、避難が難しくなる恐れがある

例えは京都市。戦時中の空襲被害が少なく、古い木造住宅や狭い路地が多い。高齢者も多い。また市内に11地区ある一著しく危険な密集市街地を市の担当者と住人が歩き、ハザードマップを製作している。袋小路や空き地は一目瞭然。路地は道幅に応じて色分けし、災害時の集集場所は写真で示した。住人に配布し、市のホームページで公開している。

京都市が20年度末までに「著しく危険な密集市街地」をゼロにするのは現実的には難しいとみられる。その代わり「地域防災力を高め、災害時に避難できるようにする」(担当者)のが目標だ。

キューバ 強制収容の名簿発見

戦時中の日系人350人分

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

ヤサカさん(78)は日本商社勤務が10月にキューバを訪ねた共同通信加盟社説説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。

日系1世で、自身も収容された故内藤五郎さん。1980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作り、共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人、埼玉県は1人。

41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米パテスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部ペントゥ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の48年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。

名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で直直ざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産を築いた人が多いが、キューバ



米国 200km キューバ フラメンゴ島

キューバ、米フロリダ半島から南約145キロのカリブ海に浮かぶ社会主義の島国。人口約1124万人。共産党の一党独裁で、キューバ革命を主導したフィデル・カストロ前国家評議会議長(弟ラウル・カストロ議長)が国家元首。1492年にコロンブスが到達。1902年にスペインから独立した後は米国の干渉を受けたが、カストロ兄弟やアルゼンチン出身の医師チェ・ゲバラらがゲリラ戦で59年に親米政権を打倒。61年に米国の断交を通告。キューバは社会主義路線を宣言した。公用語はスペイン語。(共同)

女性3人も収容

女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国人は異なり、キューバでは女性は対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サカヤさん

「故人」は、フィリピンで多くの米兵が犠牲となった「バタ」死の行進の責任を負わされた本間雅晴中将(同)の関係者と誤解されたという。実際には同姓というだけで全く関係はなかった。本間さんと日系2世の女性2人は、ハバナ郊外の収容所にドイツ人女性と共に収容された。

収容されずに家に残った妻や子どもたちの生活も苦しかった。一家の大黒柱を失い、スペイン語もほとんど話せない女性が農業やクリーニング業などで生計を立てた。フランシスコ・ミヤサカさんは、母が作った毛織物を買ってくれたり、仕事を探したりして助けた「周りのキューバ人に助けられた」と振り返る。(ハバナ共同)

作家の村上春樹氏 授賞式でスピーチ

アンデルセン文学賞

村上春樹さん

作家の村上春樹さん

村上春樹さん

村上春樹さん

授賞式に出席し、スピーチする。同賞委員会では昨年11月に村上さんへの授賞を発表。「古典的な語り口やポップカルチャー、日本の伝統、夢のような現実、哲学的議論を大胆に融合させた力量はアンデルセンの功績の継承者にふさわしい」と評価した。

同賞はアンデルセンが世界の作家に与えた影響をたたえる目的で2007年に創設された。受賞者は村上さんで5人目。過去には「ハリイ・ポッター」シリーズで著名な英作家J・K・ローリングさんも

受賞式に出席し、スピーチする。同賞委員会では昨年11月に村上さんへの授賞を発表。「古典的な語り口やポップカルチャー、日本の伝統、夢のような現実、哲学的議論を大胆に融合させた力量はアンデルセンの功績の継承者にふさわしい」と評価した。

同賞はアンデルセンが世界の作家に与えた影響をたたえる目的で2007年に創設された。受賞者は村上さんで5人目。過去には「ハリイ・ポッター」シリーズで著名な英作家J・K・ローリングさんも

受賞式に出席し、スピーチする。同賞委員会では昨年11月に村上さんへの授賞を発表。「古典的な語り口やポップカルチャー、日本の伝統、夢のような現実、哲学的議論を大胆に融合させた力量はアンデルセンの功績の継承者にふさわしい」と評価した。

同賞はアンデルセンが世界の作家に与えた影響をたたえる目的で2007年に創設された。受賞者は村上さんで5人目。過去には「ハリイ・ポッター」シリーズで著名な英作家J・K・ローリングさんも

授賞式に出席し、スピーチする。同賞委員会では昨年11月に村上さんへの授賞を発表。「古典的な語り口やポップカルチャー、日本の伝統、夢のような現実、哲学的議論を大胆に融合させた力量はアンデルセンの功績の継承者にふさわしい」と評価した。

同賞はアンデルセンが世界の作家に与えた影響をたたえる目的で2007年に創設された。受賞者は村上さんで5人目。過去には「ハリイ・ポッター」シリーズで著名な英作家J・K・ローリングさんも

受賞式に出席し、スピーチする。同賞委員会では昨年11月に村上さんへの授賞を発表。「古典的な語り口やポップカルチャー、日本の伝統、夢のような現実、哲学的議論を大胆に融合させた力量はアンデルセンの功績の継承者にふさわしい」と評価した。

同賞はアンデルセンが世界の作家に与えた影響をたたえる目的で2007年に創設された。受賞者は村上さんで5人目。過去には「ハリイ・ポッター」シリーズで著名な英作家J・K・ローリングさんも

受賞式に出席し、スピーチする。同賞委員会では昨年11月に村上さんへの授賞を発表。「古典的な語り口やポップカルチャー、日本の伝統、夢のような現実、哲学的議論を大胆に融合させた力量はアンデルセンの功績の継承者にふさわしい」と評価した。

同賞はアンデルセンが世界の作家に与えた影響をたたえる目的で2007年に創設された。受賞者は村上さんで5人目。過去には「ハリイ・ポッター」シリーズで著名な英作家J・K・ローリングさんも

大戦中のキューバ・日系人

收容名簿見つかる

350人分、実態を記録

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制收容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。收容日や出身県も書かれており、キューバの日系人收容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)は日本商社勤務が10月にキューバを訪問した共同通信加盟社説研究会に名簿コピー

キューバ日系人を巡る動き (日付は現地時間)

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年9月	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年12月7日	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・收容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月ごろ	全ての日系人が收容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年7月10日	最後の1世、島津三一郎さん=新潟県出身=が108歳で死去

広島県42人。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に收容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。

倉部さんの取材などによると、收容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、收容中に死者も出た。そんな中、日系人は收容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。收容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。

名簿には收容番号や自治会委員の肩書、收容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。(ハバナ

共同＝中川千蔵) 全土訪ね歩いた記録 キューバ移民についてまとめた「峠の文化史」(1989年)の著者、倉部きよたかさんの話。日系キューバ人の收容者名簿は内藤五郎さんが80年代に、当時は100人近く健在だったキューバ全土の日系1世を訪ね歩いてまとめた。内藤

さんの努力は大変なもので、彼がいなければキューバ移民のことはほとんど知られずに終わっていただろう。私たちは收容者名簿のベースとなった「移民者名簿」も作成、そこには日系1世のより詳細な情報がある。最近キューバの日系3世にルーツ探しの動きが出ており、それらの目的のためにも名簿は受け継がれる

価値があると思う。父、收容体験話せず フランシスコ・ミヤサカさんの話。父は收容中の体験を話したがらなかった。非常につらかったのだから。收容中の3年間、母と私も父親には全く会えなかった。貧しくて刑務所に訪ねに行くことはできなかった。(戦争と) 関係のない



30日、イタリア中部ノルチャで、崩れた壁(右奥)のそばに立つ修道女ら(ロイター＝共同)

イタリア中部 地震が相次ぐ

建物倒壊、20人負傷

【ローマ共同】米地質調査所(USGS)によると、イタリア中部ノルチャ付近で30日午前7時40分(日本時間同日午後3時40分)ごろ、マグニチュード(M)6.6の地震があった。防災当局によると約20人が負傷したが命に別条はなく、死者も確認されていない。

同じ地域では26日夜にも、M5以上の地震が相次いで起きたばかり。防災当局は地震の規模をM6.5とし、1980年に同国南部を襲った地震以降、最大規模と発表した。ANSA通信によると、当時は29

見4割

正社員の道は険し

9月の有効求人倍率と完全失業率は、回復。安倍政権は雇用情勢に関し「着実にれも改善し、企業が働き手の確保に四苦八改善が進んでいる」(菅義偉官房長官)と苦している。有効求人倍率は1.38倍と、強調するが、非正規で雇われる人が多い。景気の足踏みをききと25年ぶりの高水準を め安定した正社員への道は依然険しい。

韓国 検察

朴氏の親友、聴取へ 欧州から帰国

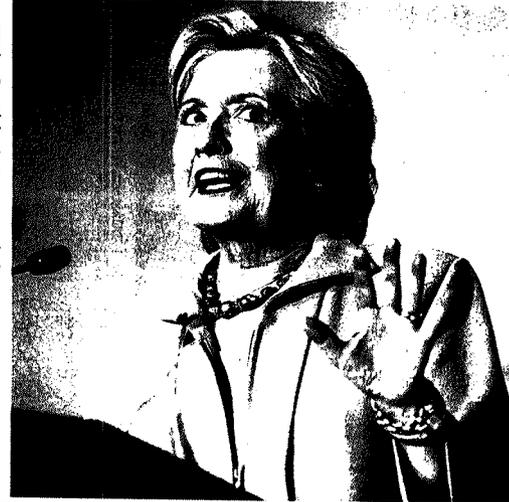
【ソウル共同】韓国の朴槿恵大統領(64)の親友の崔順実氏(60)による国政介入疑惑を巡り、検察は30日、崔氏に31日午後3時(日本

疑念を巡り、検察は30日、崔氏に31日午後3時(日本)の行動のために国民に

府で検査派組織「イスラム国」(IS)の拠点、イラク北部モスルの奪還作戦で、イランの影響力が強いイスラム教シーア派民兵組織「人民動員隊」が29日、モスル

【間】

29日、米フロリダ州での集会で、メール問題について話すクリントン氏 (AP共同)



ド州での集会で、クリントン氏が私用メールサーバーを設置していたのは「悪事が国民にばれないようにするためだ」と主張。「司法省はクリントン氏を守るのに必死だ」とも語

首相続投決定
3度目の下院選挙回避

昨年12月の下院選後、ともに単独過半数を大きく割り込んだ二

シリア派民兵はイラクの安全に脅威となる場所にはどこへでも選出の際にスンニ派住民を拷問したとの疑いもあり、モスルやその周辺でも宗派間の対立感情が悪化する懸念が高まっている。最大

シリア内戦ではロシアのほか、イランやイラクの安全に脅威となる場所にはどこへでも行く」とも強調。シリアでアサド政権軍と共闘する計画もあると述べた。

ルチャ付近で30日午前7時40分(日本時間同日午後3時40分)ごろ、マグニチュード(M)6.6の地震があった。防災当局によると約20人が負傷したが命に別条はなく、死者も確認さ

【カイロ共同】内戦状態のイエメンで29日、62人が死亡した。サウジ側の

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会長、フランシスコ・ミヤサカさん(78)は日本社勤務が10月にキューバを訪問した共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父、宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。作成したのは広島県出身の日系1世で、自身も収容された故内藤五郎さん。1980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作り、共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理し

強制収容の日系人
350人の日本語名簿

てワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。本県は2人。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追従し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベツドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、さまざまな娯楽で苦境を乗り切った。

キューバ

2016.10.31

空爆相次ぎ
62人が死亡

【カイロ共同】内戦状態のイエメンで29日、62人が死亡した。サウジ側の

援するサウジ主導のイスラーム二派連合軍に相次いで、関係者などの死亡、国際社が高まった。29日の空爆で、シリア派系「フシ派」が続く南部タ東で住宅が被もや女性を含む死亡した。誤れる。

FLAWC

延期 三菱重工... 空研究開発機構... は30日、気象衛星... 9号を載せたH2... 31号機の種子島... ター(鹿児島県)... ち上げ、11月1... 日に延期すると... 子とされる悪天候

国中

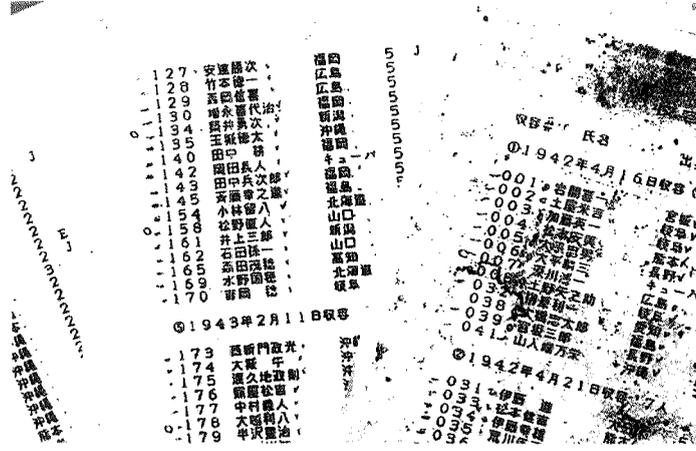
第2次大戦中親米政権が350人逮捕

キューバに日系人収容名簿

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

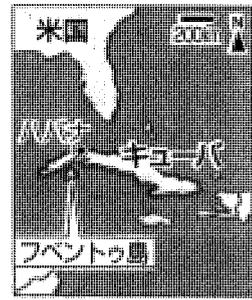
(ハバナ共同)

ミヤサカさんが提供したキューバの日系人収容者名簿のコピー(共同)



広島出身1世作成 中国地方は59人

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が日本商社勤務IIが10月にキューバを訪問した中国新聞など共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。



作成したのは自身も収容された広島県安村(現広島市)出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約100人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。中国地方はそのほ

歴史知ってほしい

フランシスコ・ミヤサカさんの話。父は収容中の体験を話したがらなかった。非常につらかったのだらう。収容中の3年間、母と私も父親には全く会えなかった。貧しくて刑務所に訪ねに行くことはできなかった。(戦争と)関係のない

日系人を収容所に入れた当時の親米政権はひどかったと思う。現在キューバの日系2世で日本語を話せる人は私以外におらず、3世、4世は日本人としてのアイデンティティをほとんど持っていない。キューバの日系人は人数が少ないこともあり実態が知られていない。(名簿で)歴史を知ってもらえればうれしい。

か、山口県8人、鳥取県7人、岡山県2人だった。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後

キューバ日系人を巡る動き(日付は現地時間)

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年9月	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年12月7日	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月ごろ	全ての日系人が収容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年7月10日	最後の1世、島津三一郎さん=新潟県出身=が108歳で死去

の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆貧素に暮らしている」と話した。

全羽

クリック

キューバ 米フロリダ半島から南約1450キロのカリブ海に浮かぶ社会主義の島国。人口約1124万人。共産党の一党独裁で、キューバ革命を主導したフィデル・カストロ前国家評議会議長の名ラウル・カストロ

議長が国家元首。1492年にコロンブスが到達。1902年にスペインから独立した後は米国の干渉を受けたが、カストロ兄弟やアルゼンチン出身の医師チェルゼンがゲリラ戦で59年に親米政権を打倒。61年に米国が断交を通告、キューバは社会主義路線を宣言した。公用語はスペイン語。

女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国と異なり、キューバでは女性を対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サクヤさん(故人)は、フィリピンで多くの米兵が犠牲となった「バターン死の行進」の責任を負わされた本間雅晴中將(同)の関係者と誤解されたという。

実際には同姓というだけで全く関係はなかった。本間

例外的に女性3人も

さんと日系2世の女性2人は、ハバナ郊外の収容所にドイツ人女性と共に収容された。

収容されずに家に残った妻や子どもの生活も苦しかった。一家の大黒柱を失い、スペイン語もほとんど話せない女性が農業やクリーニング業などで生計を立てた。フランシスコ・ミヤサカさんは、母親が作った毛編み物を買ってくれたり、仕事を探したりしてくれた「周りのキューバ人に助けられた」と振り返る。

関税99%撤廃

EU、対日交渉に弾み

【ブリュッセル共同】欧州連合(EU)とカナダは30日、ブリュッセルで自由貿易協定(FTA)に調印した。5億人超の人口を抱える巨大市場EUとカナダの間で、関税の99%超が撤

廃される「画期的な合意」(欧州委員会)で、両者は経済関係を一層強める。協定の調印で、EUと日本が年内の大筋合意を目指す経済連携協定(EPA)の交渉にも弾みがつきそう

だ。カナダとの協定は「包括的経済貿易協定(CETA A)」と呼ばれる。EUが先進7カ国(G7)とFTAを結ぶのは初めてで、調印式はカナダのトルドー首相とトウスクEU大統領ら

が出席し、協定が貿易額(約1)加する。ただ、カナダは1年来のFTTA領任期

全羽

キューバ収容所に日系人

戦時の親米政権下名簿現存

男性56人女性も1人か

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。名字から沖縄県関係とみられる女性1人も記されている。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。



戦時中のキューバの日系人収容者名簿を保有するフランシスコ・ミヤサカさん

日系人350人分作成

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が日本商社勤務が10月にキューバを訪ねた共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約100人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)

が整理してワープロで清書した。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追

随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。

女性3人例外的に収容

女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国と異なり、キューバでは女性を対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サクヤさん(故人)は、

フィリピンで多くの米兵が犠牲となった「バター」死の行進」の責任を負わされた本間雅晴中将(同)の關係者と誤解されたというだけ。実際には同姓というだけで全く関係はなかった。本間さんと日系2世の女性、山入端マリアさん(沖縄県関係者とみられる)ら2人は、ハバナ郊外の収容所にドイツ人女性と共に収容された。収容されずに家に残った

倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。

そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活を長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催し

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を12月7日攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月	全ての日系人が収容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年	最後の1世、島津三一郎さん=新潟県出身=が108歳で死去

を聞くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産を築いた人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。

全土歩いた記録

キューバ移民についてまとめた「峠の文化史」(1989年)の著者、倉部きよたかさんの話。日系キューバ人の収容者名簿は内藤五郎さんが80年代に、当時は100人近く健在だったキューバ全土の日系1世を訪ね歩いてまとめた。内藤さんの努力は大変なもので、彼がいなければキューバ移民のことはほとんど知られずに終わっていただろう。

キューバの強制収容所にいた沖縄県出身者名簿(敬称略)

- ▽1942年4月16日収容
山入端万栄
- ▽同年4月21日収容
上原幸三
- ▽同年11月24日収容
崎原金永、玉城徳太
- ▽43年2月11日収容
西新門政光、大城牛、渡久地政則、照屋松吉、宮城当清、玉城徳吉、山城仁弘、玉城徳蔵、赤比地亀三、石川文助、赤比地政芳、伊波清孝、嶺井武彦、津波古千松、石川久吉、松田安定、上間利清、玉栄樽良、又吉誠喜、伊波清一、内間武五郎
- ▽同年2月23日収容
仲宗根勝吉、饒平名知政、饒平名知栄、我喜屋得寿、伊波伝助、又吉加那、宮城友吉、仲程清四郎、玉城賀盛、系数宗信、大城亀、仲宗根幸春、大城寛順、石川善俊、平良徳平、渡久地政平、饒平名知嗣、永峰松男、上原牛治、上原亀次郎、上原徳一、上原亀康、上原亀三、内間善五郎、上間嘉昇、石川加那
- ▽同年2月末日収容
大兼久安吉
- ▽同年3月26日収容
山入端久郎、遠山亀吉
- ▽同年5月収容
高嶺賀陽、玉城賀吉
- ▽女性の収容者(県名はないが名字から沖縄関係者と思われる)
山入端マリア



私の一点

僕の目ちから

(東京都)
仲地 亜希 32歳

2016.10.31 沖縄タイムス

第2次大戦中 親米政権が350人逮捕

キューバに日系人収容名簿

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

(ハバナ共同)

広島出身1世作成 中国地方は59人



日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が10月にキューバを訪問した中国新聞など共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父官坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県安村(現広島市)出身の日系1世、故人藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。中国地方はそのほ

クリック

キューバ 米フロリダ半島から南約145キロのカリブ海に浮かぶ社会主義の島国。人口約1124万人。共産党の一党独裁で、キューバ革命を主導したフィデル・カストロ前国家評議会議長、弟ラウル・カストロ

議長が国家元首。1492年にコロンブスが到達。1902年にスペインから独立した後は米国の干渉を受けたが、カストロ兄弟やエルゼンチン出身の医師チェ・ゲバラらがゲリラ戦で59年に親米政権を打倒。61年に米国の断交を通告、キューバは社会主義路線を宣言した。公用語はスペイン語。

女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国と異なり、キューバでは女性は対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サクヤさん(故人)は、フィリピンで多くの米兵が犠牲となった「パターン死の行進」の責任を負わされた本間雅晴中将(同)の関係者と誤解されたという。

実際には同姓というだけで全く関係はなかった。本間

例外的に女性3人も

さんと日系2世の女性2人は、ハバナ郊外の収容所にドイツ人女性と共に収容された。

収容されずに家に残った妻や子どもの生活も苦しかった。一家の大黒柱を失い、スペイン語もほとんど話せない女性が農業やクリーニング業などで生計を立てた。フランシスコ・ミヤサカさんは、母親が作った毛織み物を買ってくれたり、仕事を探したりしてくれた「周りのキューバ人に助けられた」と振り返る。

歴史知ってほしい

フランシスコ・ミヤサカさんの話。父は収容中の体験を話したがらなかった。非常につらかったのだらう。収容中の3年間、母と私も父親には全く会えなかった。貧しくて刑務所に訪ねに行くことはできなかった。(戦争と)関係のない

日系人を収容所に入れた当時の親米政権はひどかったと思う。現在キューバの日系2世で日本語を話せる人は私以外におらず、3世、4世は日本人としてのアイデンティティをほとんど持っていない。キューバの日系人は人数が少ないこともあり実態が知られていない。(名簿で)歴史を知ってもらえればうれしい。

か、山口県8人、鳥取県7人、岡山県2人だった。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米パティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約42

0人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部パベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後

キューバ日系人を巡る動き(日付は現地時間)

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年	最初の日本人男性が移住したと9月 キューバ紙が報道
1941年	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を12月7日 攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月	全ての日系人が収容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年	最後の1世、島津三一郎さん=7月10日 新潟県出身=が108歳で死去

の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演習部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。

キューバが350人強制収容

戦時中、日系人の名簿現存



第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。



ミヤサカさんが提供したキューバの日系人収容者名簿のコピー

日系2世で、ハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさんが10月にキューバを訪問した共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父富坂寛司さん(長野出身、故人)の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1

支常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバを訪問
・最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
・旧日本軍が米ハワイの真珠湾を攻撃
・親米キューバ政府が日本に宣戦布告
・日系人の逮捕・収容開始
・太平洋戦争終結
・全ての日系人が収容所から解放される
・キューバ革命
・ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
・最後の1世、島津三一郎さん(新潟県出身)が108歳で死去

キューバ日系人を巡る動き(日付は現地時間)

1614年	支常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバを訪問
1898年	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月ごろ	全ての日系人が収容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年	最後の1世、島津三一郎さん(新潟県出身)が108歳で死去

980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。本県出身者はいなかった。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米パティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部ペンントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない

状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。解放後、多くは財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産を築いた人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。(ハバナ共同)

キューバ 第2次大戦中強制収容

日系350人名簿が現存

第二次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針によって強制収容所に入れられていた日系人約三百五十人の日本語の名簿が現存していることが明らかになった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系二世でハバナの日系人連絡会長フランシスコ・ミヤサカさん（モ）日本商社勤務の父、宮坂寛治さん（長野県出身）の遺品から名簿が見つかった。

作成したのは広島県出身の日系一世で、自身も収容された故内藤五郎さん。一九八〇年代に全土に散っていた元収容者を訪ね歩き、手書きの名簿を作り、共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん（東京都在住）が整理して清書した。収容者の出身県別で最も多いのが熊本県で五十九人、次いで沖縄県の五十六人、広島県四十二人。

四一年十二月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米パテイスタ政権は米国に追従。日系人約四百二十人のうち十八歳以上の男性約三百五十人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性三人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の四六年三月ごろまで続いた。

名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

（ハバナで、北島忠輔）

親米政権下のキューバ

強制収容所の日系人名簿

第2次大戦中 350人分、道内2人

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日まで分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)は日本商社勤務が10月にキューバを訪問した共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1

世、故内藤五郎さんと、1980年代に全土に散っていた元収容者約100人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別で見ると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56

人、広島県42人。

北海道は、42年11月24日収容として「小林留八」「水野国穂」の2人の氏名が記載されている。

41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによ

ると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。

名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。(ハバナ共同)